

各位

2020年5月27日
大原薬品工業株式会社

自社創製のDNAメチル化阻害剤OP-2100に関する研究結果がBloodに掲載

大原薬品工業株式会社（本社：滋賀県甲賀市、代表取締役社長：大原誠司、以下「当社」）は、自社創製のDNAメチル化阻害剤OR-2100（開発番号：OP-2100）に関する産学共同研究の成果が、血液学では最高峰の米国血液学会誌「Blood」にオンラインで5月11日に発表されましたことを報告致します。

本研究は、国立大学法人佐賀大学医学部の創薬科学共同研究講座（教授：木村晋也）の渡邊達郎特任准教授らのグループが中心となり、国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野（分野長：牛島俊和）と当社の三者共同で進められたものです。本研究では、成人T細胞白血病（ATL）の病気の進行に応じてDNAメチル化が蓄積することを発見するとともに、そのメチル化異常を取り除く新規化合物としてOR-2100がATL患者由来のがん細胞株に対して効果を示すことが動物実験で確認されました。

当社は産学の機能的な連携による本共同研究を引き続き推進し、本剤の開発を進めることでATLをはじめとする造血器腫瘍の新規治療薬および新規診断薬の開発をめざします。

なお、本研究成果の詳細については、佐賀大学より2020年5月25日16時に報道発表されました。

以上

◆本件に対するお問い合わせ先◆

大原薬品工業株式会社

担当：早川（はやかわ）

TEL：03-6740-7701 FAX：03-6740-7702

【大原薬品工業株式会社について】

大原薬品工業株式会社は、オーファンドラッグとジェネリック医薬品の創薬及び育薬を事業の柱とした医薬品会社です。特に小児がん領域を中心としたオーファンドラッグの開発・販売や、医療事故防止に配慮したジェネリック医薬品の開発・製造・販売に注力しています。治療成績の向上や医療環境が大きく変化している現在、治療のみならず、医療の質に影響をおよぼす予防、診断、アフターケアにもイノベーションを活かし、Total Healthcare Solutionを提供できる企業をめざします。